

# 2019年3月期 第2四半期 決算説明資料

2018年11月12日

近鉄グループホールディングス株式会社  
(証券コード 9041)

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp>

第2四半期決算概要 …… 2

通期業績予想 …… 16

# 第2四半期決算概要

# 四半期連結損益計算書

(単位：百万円,%)

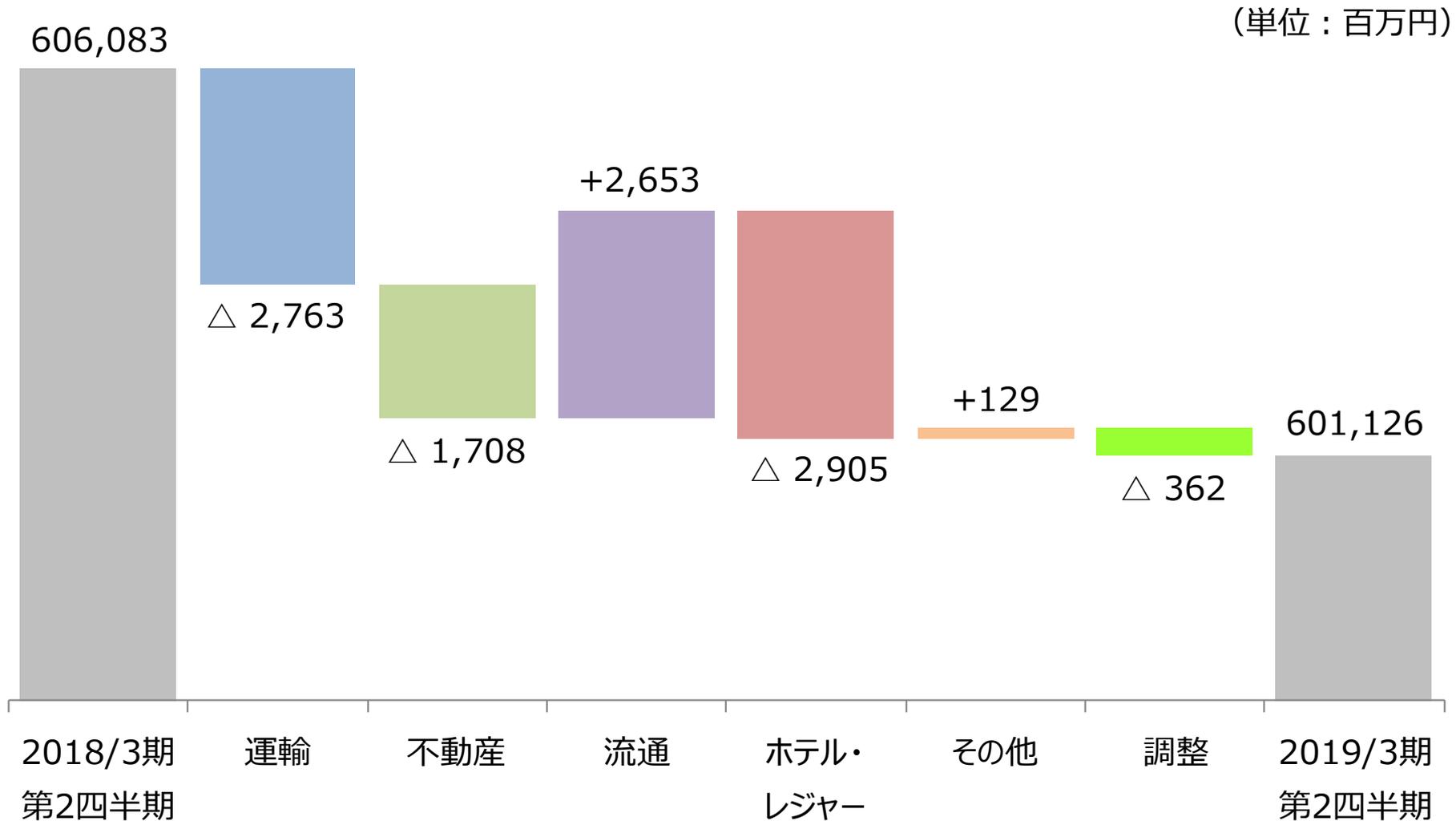
	2018/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	増 減	増 減 率	増 減 要 因	当初予想 (2018年5月公表)	増 減
営業収益	606,083	<b>601,126</b>	△ 4,957	△ 0.8	「セグメント別業績」参照	603,000	△ 1,873
営業利益	35,616	<b>33,707</b>	△ 1,908	△ 5.4	「セグメント別業績」参照	33,000	707
営業外収益	4,122	<b>5,945</b>	1,822	44.2			
うち持分法による投資利益	2,526	<b>3,922</b>	1,395	55.3			
営業外費用	6,316	<b>5,974</b>	△ 342	△ 5.4			
うち支払利息	4,814	<b>4,364</b>	△ 450	△ 9.4			
経常利益	33,422	<b>33,678</b>	256	0.8		30,000	3,678
特別利益	6,027	<b>6,142</b>	114	1.9	工事負担金等受入額 206		
特別損失	6,959	<b>7,035</b>	75	1.1	工事負担金等圧縮額 205		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	18,985	<b>21,467</b>	2,481	13.1		18,000	3,467

連結子会社数 83社（前期末比2社減）

持分法適用会社数 8社（前期末比増減なし）

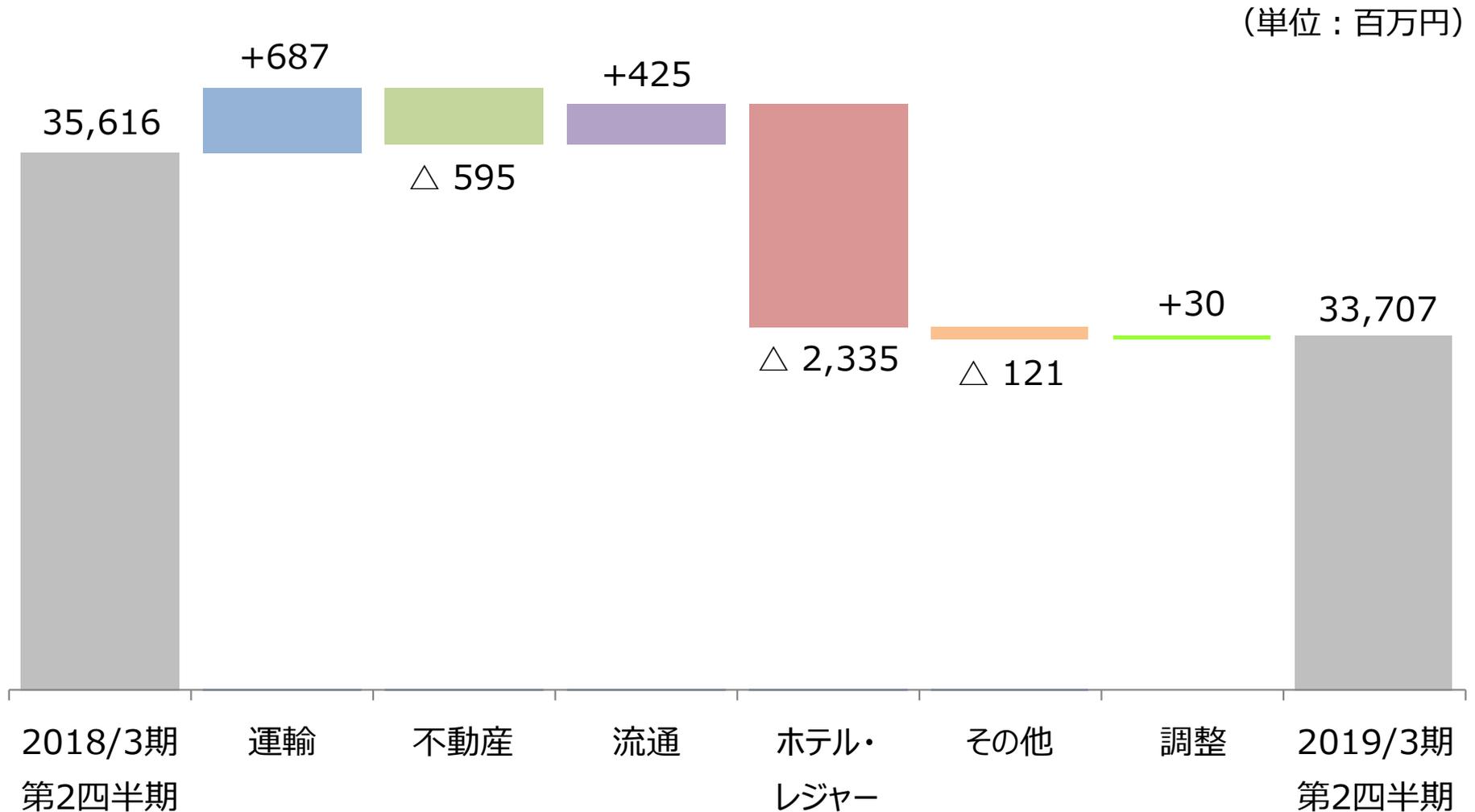
# 決算ポイント（営業収益）

流通業で「あべのハルカス近鉄本店」の業績が好調を維持したものの、自然災害等の影響により運輸業、ホテル・レジャー業が減収となったため、連結全体で減収



# 決算ポイント（営業利益）

運輸業が費用の減少により増益であったものの、ホテル・レジャー業における減収の影響が大きく、連結全体では減益



# セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2018/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	増 減	増 減 率	当初予想 (2018年5月公表)	増 減
運 輸	営業収益	114,400	<b>111,636</b>	△ 2,763	△ 2.4	113,000	△ 1,363
	営業利益	16,195	<b>16,882</b>	687	4.2	17,000	△ 117
不 動 産	営業収益	68,438	<b>66,730</b>	△ 1,708	△ 2.5	66,000	730
	営業利益	8,886	<b>8,290</b>	△ 595	△ 6.7	7,100	1,190
流 通	営業収益	192,594	<b>195,247</b>	2,653	1.4	193,000	2,247
	営業利益	2,903	<b>3,329</b>	425	14.7	3,200	129
ホテル・レジャー	営業収益	245,600	<b>242,695</b>	△ 2,905	△ 1.2	246,000	△ 3,304
	営業利益	6,433	<b>4,098</b>	△ 2,335	△ 36.3	4,900	△ 801
そ の 他	営業収益	7,821	<b>7,951</b>	129	1.7	8,000	△ 48
	営業利益	816	<b>695</b>	△ 121	△ 14.8	600	95
調 整	営業収益	△ 22,772	△ <b>23,135</b>	△ 362		△ 23,000	△ 135
	営業利益	381	<b>411</b>	30		200	211
連 結	営業収益	606,083	<b>601,126</b>	△ 4,957	△ 0.8	603,000	△ 1,873
	営業利益	35,616	<b>33,707</b>	△ 1,908	△ 5.4	33,000	707

(単位：百万円,%)

	2018/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	増 減	増 減 率
営業収益	114,400	<b>111,636</b>	△ 2,763	△ 2.4
鉄軌道	79,835	<b>77,594</b>	△ 2,240	△ 2.8
バス	17,367	<b>17,361</b>	△ 5	△ 0.0
タクシー	5,745	<b>5,805</b>	59	1.0
鉄道施設整備	8,377	<b>8,332</b>	△ 45	△ 0.5
その他運輸関連	11,571	<b>10,642</b>	△ 929	△ 8.0
調整	△ 8,496	△ <b>8,099</b>	397	
営業利益	16,195	<b>16,882</b>	687	4.2
(主な内訳)				
鉄軌道	14,418	<b>15,588</b>	1,169	8.1
バス	805	<b>761</b>	△ 44	△ 5.5

## 《鉄軌道》

- 営業収益は、本年6月に発生した大阪北部地震や、7月から9月にかけて相次いで上陸した台風など自然災害に加え、前年に三重県伊勢市で開催された「第27回全国菓子大博覧会・三重」の反動等により伊勢志摩方面への旅客が前年を下回ったため減収
- 営業利益は、退職給付に係る数理計算上の差異の費用処理額が減少したほか、前年には大阪地区総合指令稼働に伴う除却費を計上していたため増益

	2018/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	増 減	増減率(%)
輸送人員 (千人)	295,513	<b>292,997</b>	△ 2,516	△ 0.9
定期外	118,484	<b>115,837</b>	△ 2,647	△ 2.2
定期	177,029	<b>177,160</b>	131	0.1
営業収益 (百万円)	79,540	<b>77,594</b>	△ 1,946	△ 2.4
旅客収入	75,783	<b>74,287</b>	△ 1,496	△ 2.0
定期外収入	51,471	<b>49,957</b>	△ 1,513	△ 2.9
定期収入	24,312	<b>24,329</b>	17	0.1
運輸雑収等	3,757	<b>3,307</b>	△ 450	△ 12.0
営業利益 (百万円)	14,413	<b>15,588</b>	1,174	8.1

(単位：百万円,%)

	2018/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	増 減	増 減 率
営業収益	68,438	<b>66,730</b>	△ 1,708	△ 2.5
不動産販売	27,838	<b>23,707</b>	△ 4,130	△ 14.8
不動産賃貸	23,512	<b>24,618</b>	1,105	4.7
不動産管理	19,220	<b>20,557</b>	1,337	7.0
調整	△ 2,133	△ <b>2,153</b>	△ 19	
営業利益	8,886	<b>8,290</b>	△ 595	△ 6.7
(主な内訳)				
不動産販売	1,963	<b>668</b>	△ 1,295	△ 66.0
不動産賃貸	6,429	<b>6,976</b>	547	8.5

## 《不動産販売》

- 当期のマンションの引き渡しに年度末に集中することもあり、当第2四半期連結累計期間の分譲戸数が減少したため減収減益

## 《不動産賃貸》

- 主要オフィスビルが堅調に推移したほか、保有資産の売却もあり増収増益

(単位：百万円,%)

	2018/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	増 減	増 減 率
営業収益	192,594	<b>195,247</b>	2,653	1.4
百貨店	135,358	<b>139,275</b>	3,916	2.9
ストア・飲食	57,889	<b>56,671</b>	△ 1,217	△ 2.1
調整	△ 653	△ <b>699</b>	△ 45	
営業利益	2,903	<b>3,329</b>	425	14.7
(主 な 内 訳) 百貨店	1,833	<b>2,490</b>	656	35.8
ストア・飲食	1,067	<b>838</b>	△ 229	△ 21.5

### 《百貨店》

- 新規ショップの導入や集客力のある催事の展開に加え、インバウンド需要の増大により「あべのハルカス近鉄本店」の業績が好調を維持したため増収増益

(単位：百万円,%)

	2018/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	増 減	増 減 率
営業収益	245,600	<b>242,695</b>	△ 2,905	△ 1.2
ホテル	29,973	<b>28,507</b>	△ 1,466	△ 4.9
旅行	208,928	<b>207,497</b>	△ 1,430	△ 0.7
映画	1,836	<b>1,760</b>	△ 75	△ 4.1
水族館	4,989	<b>5,016</b>	26	0.5
調整	△ 126	△ <b>86</b>	40	
営業利益	6,433	<b>4,098</b>	△ 2,335	△ 36.3
(主な内訳)				
ホテル	1,986	<b>886</b>	△ 1,099	△ 55.4
旅行	2,716	<b>1,527</b>	△ 1,189	△ 43.8
水族館	1,589	<b>1,563</b>	△ 26	△ 1.6

## 《ホテル》

- 「沖縄都ホテル」の売却や「ウェスティン都ホテル京都」の大規模リニューアル工事による一部客室売り止め等により減収減益

## 《旅行》

- 自然災害等の影響により国内旅行の取り扱いが減少したため減収減益

# 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期 第2四半期	増 減	増 減 要 因
流動資産	282,328	<b>291,263</b>	8,934	販売土地及び建物 9,612
固定資産	1,628,999	<b>1,626,598</b>	△ 2,400	
資産合計	1,914,480	<b>1,921,000</b>	6,520	
流動負債	559,904	<b>538,884</b>	△ 21,019	短期借入金 △ 30,827 未払法人税等 5,002
固定負債	960,337	<b>974,554</b>	14,216	社債 9,360 長期借入金 6,545
負債合計	1,520,242	<b>1,513,438</b>	△ 6,803	
純資産合計	394,238	<b>407,562</b>	13,323	
うち利益剰余金	75,734	<b>87,249</b>	11,515	純利益 21,467 配当金 △ 9,525 土地再評価差額金取崩 △ 428
うちその他の包括利益累計額	103,581	<b>103,196</b>	△ 385	
負債・純資産合計	1,914,480	<b>1,921,000</b>	6,520	
借入金・社債残高	1,080,230	<b>1,065,228</b>	△ 15,001	
借入金	769,150	<b>744,868</b>	△ 24,281	
社債	311,080	<b>320,360</b>	9,280	

# 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2018/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,365	<b>48,475</b>	△ 10,889
うち、売上債権の増減額	1,992	<b>867</b>	△ 1,125
うち、仕入債務の増減額	6,687	<b>507</b>	△ 6,180
うち、その他	16,650	<b>11,548</b>	△ 5,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 34,445	△ <b>26,684</b>	7,761
うち、投資有価証券の売却	5	<b>1,238</b>	1,233
うち、固定資産の取得による支出	△ 37,238	△ <b>33,823</b>	3,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 31,499	△ <b>27,193</b>	4,305
うち、借入金・社債の増減額	△ 18,431	△ <b>15,224</b>	3,207
現金及び現金同等物の増減額	△ 6,600	△ <b>5,172</b>	1,428
現金及び現金同等物の期首残高	51,914	<b>52,763</b>	849
現金及び現金同等物の期末残高	45,305	<b>47,529</b>	2,224

(単位：百万円)

	2018/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	増減	増減要因
設備投資	25,340	<b>22,240</b>	△ 3,100	
運輸	7,354	<b>9,083</b>	1,729	
（うち鉄軌道）	(5,798)	<b>(7,368)</b>	(1,570)	
不動産	10,867	<b>6,319</b>	△ 4,547	前期「TH銀座ビル」の取得 (現:近鉄銀座中央通りビル)
流通	3,324	<b>4,563</b>	1,239	
ホテル・レジャー	3,009	<b>1,895</b>	△ 1,113	
その他	721	<b>461</b>	△ 259	
調整	64	△ <b>84</b>	△ 148	

# 減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2018/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	増 減
運 輸	減価償却費	13,387	<b>13,364</b>	△ 23
	EBITDA	29,582	<b>30,246</b>	664
不 動 産	減価償却費	5,692	<b>5,734</b>	41
	EBITDA	14,578	<b>14,025</b>	△ 553
流 通	減価償却費	3,599	<b>3,507</b>	△ 92
	EBITDA	6,502	<b>6,836</b>	333
ホテル・レジャー	減価償却費	2,001	<b>2,133</b>	132
	EBITDA	8,434	<b>6,232</b>	△ 2,202
そ の 他	減価償却費	928	<b>872</b>	△ 55
	EBITDA	1,744	<b>1,567</b>	△ 176
調 整	減価償却費	330	<b>164</b>	△ 165
	EBITDA	712	<b>576</b>	△ 135
連 結	減価償却費	25,939	<b>25,776</b>	△ 162
	EBITDA	61,556	<b>59,484</b>	△ 2,071

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

# 通期業績予想

(単位：百万円,%)

	2018/3期 通期実績	2019/3期 通期予想	増 減	増 減 率	当初予想 (2018年5月公表)	増 減
営業収益	1,222,779	<b>1,238,000</b>	15,220	1.2	1,240,000	△ 2,000
営業利益	64,643	<b>64,000</b>	△ 643	△ 1.0	65,000	△ 1,000
経常利益	61,323	<b>62,000</b>	676	1.1	61,000	1,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	29,614	<b>33,000</b>	3,385	11.4	32,000	1,000
持分法による投資利益	5,976	<b>7,300</b>	1,323	22.1	6,000	1,300
支払利息	9,485	<b>9,000</b>	△ 485	△ 5.1	9,500	△ 500

【主な増減要因】 ※営業収益・営業利益は次ページ以降をご参照ください

〈前年比〉

経常利益 営業利益が減少するものの、持分法による投資利益の増加や支払利息の減少により増益  
 親会社株主に帰属する当期純利益 経常利益の増加に加え、減損損失の減少や子会社での事業再編に伴う税負担の軽減もあり増益

〈当初予想比〉

経常利益 営業利益が減少するものの、持分法による投資利益の増加や支払利息の減少により増益

# セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2018/3期 通期実績	2019/3期 通期予想	増 減	増 減 率	当初予想 (2018年5月公表)	増 減
運 輸	営業収益	228,186	<b>224,000</b>	△ 4,186	△ 1.8	225,000	△ 1,000
	営業利益	29,206	<b>30,600</b>	1,393	4.8	31,000	△ 400
不 動 産	営業収益	149,565	<b>167,000</b>	17,434	11.7	168,000	△ 1,000
	営業利益	16,297	<b>18,100</b>	1,802	11.1	18,000	100
流 通	営業収益	395,817	<b>392,000</b>	△ 3,817	△ 1.0	389,000	3,000
	営業利益	7,080	<b>7,500</b>	419	5.9	7,500	0
ホテル・レジャー	営業収益	478,669	<b>484,000</b>	5,330	1.1	487,000	△ 3,000
	営業利益	9,627	<b>5,500</b>	△ 4,127	△ 42.9	6,200	△ 700
そ の 他	営業収益	16,380	<b>17,000</b>	619	3.8	16,000	1,000
	営業利益	1,611	<b>1,500</b>	△ 111	△ 6.9	1,500	0
調 整	営業収益	△ 45,840	△ <b>46,000</b>	△ 159		△ 45,000	△ 1,000
	営業利益	818	<b>800</b>	△ 18		800	0
連 結	営業収益	1,222,779	<b>1,238,000</b>	15,220	1.2	1,240,000	△ 2,000
	営業利益	64,643	<b>64,000</b>	△ 643	△ 1.0	65,000	△ 1,000

# 主な増減要因（前年比）

## 《運輸》

- 営業収益は、鉄軌道部門で、養老鉄道の連結除外に加え、地震、台風など自然災害や伊勢志摩方面での大型イベントの反動もあり減収
- 営業利益は、鉄軌道部門での退職給付に係る数理計算上の差異の費用処理額や修繕費の減少等により増益を予想

## 《不動産》

- 不動産販売部門で、マンション販売戸数が増加するほか、不動産賃貸部門でも、主要賃貸物件の賃料が堅調に推移する見込みであるため、増収増益を予想

## 《流通》

- 営業収益は、百貨店部門で、「あべのハルカス近鉄本店」は好調を維持する見込みであるが、郊外店における売場改革の一環としての専門店化の推進等により減収となるほか、ストア・飲食部門で店舗閉鎖等もあり減収
- 営業利益は、百貨店部門で売場改革や固定費の削減等により増益を予想

## 《ホテル・レジャー》

- 営業収益は、ホテル部門で、「沖縄都ホテル」の売却や「ウェスティン都ホテル京都」の大規模リニューアル工事による客室の一部売り止めがあるものの、旅行部門で、クラブツーリズムや近畿日本ツーリストの団体旅行部門での回復を見込み、ホテル・レジャー業全体では増収を予想
- 営業利益は、ホテル部門における改装費用や新規ホテルの開業費用増加に加え、旅行部門でのシステム関連費用の増加を見込み、減益を予想

# 主な増減要因（当初予想比）

## 《運 輸》

- 営業収益は、鉄軌道部門での地震、台風など自然災害の影響等により減収
- 営業利益は、鉄軌道部門で電力料金の引下げなどコストの減少があるも、バス部門における燃料費の増加等もあり減益予想

## 《不動産》

- 営業収益は、不動産販売部門でマンション販売計画の見直しにより減収見込みであるが、利益率の向上により営業利益は概ね当初並みを予想

## 《流 通》

- 営業収益は、近鉄百貨店「あべのハルカス近鉄本店」の堅調な業績推移を反映し増収見込みであるが、営業利益は、ストア飲食部門で人件費の増加等を織り込み、全体では当初並み

## 《ホテル・レジャー》

- ホテル部門や旅行部門で、度重なる自然災害の影響に加え、新規ホテル開業のずれ込み等もあり、減収減益を予想

# 近畿日本鉄道 運輸成績

	2018/3期 通期実績	2019/3期 通期予想	増 減	増減率(%)	当初予想 (2018年5月公表)	増 減
輸送人員 (千人)	578,375	<b>575,032</b>	△ 3,343	△ 0.6	577,234	△ 2,202
定期外	236,583	<b>233,511</b>	△ 3,072	△ 1.3	236,574	△ 3,063
定期	341,792	<b>341,521</b>	△ 271	△ 0.1	340,660	861
営業収益 (百万円)	157,330	<b>155,000</b>	△ 2,330	△ 1.5	156,700	△ 1,700
旅客収入	149,912	<b>148,151</b>	△ 1,761	△ 1.2	150,015	△ 1,864
定期外収入	102,376	<b>100,689</b>	△ 1,686	△ 1.6	102,588	△ 1,899
定期収入	47,536	<b>47,461</b>	△ 74	△ 0.2	47,427	34
運輸雑収等	7,417	<b>6,848</b>	△ 569	△ 7.7	6,684	164
営業利益 (百万円)	26,180	<b>27,500</b>	1,319	5.0	27,500	0

# 設備投資 借入金・社債残高

(単位：百万円,倍)

	2018/3期 通期実績	2019/3期 通期予想	増 減	当初予想 (2018年5月公表)	増 減	増減要因 (対前年)
設備投資	54,057	<b>88,000</b>	33,942	92,000	△ 4,000	
運 輸	24,868	<b>30,000</b>	5,131	30,000	0	
(うち鉄軌道)	(21,282)	<b>(24,000)</b>	(2,717)	(24,000)	0	
不動産	15,583	<b>37,000</b>	21,416	38,000	△ 1,000	「近鉄博多ビル(仮称)」建設 「都シティ 東京高輪」新規開業 「ウェスティン都ホテル京都」大規模リニューアル
流 通	6,038	<b>9,000</b>	2,961	11,000	△ 2,000	
ホテル・レジャー	5,526	<b>9,700</b>	4,173	10,700	△ 1,000	「都シティ 東京高輪」新規開業(ホテル) WEB販売システム構築(旅行)
その他	1,612	<b>1,500</b>	△ 112	1,500	0	
調 整	427	<b>800</b>	372	800	0	
借入金・社債残高	1,080,230	<b>1,080,000</b>	△ 230	1,080,000	0	
EBITDA	117,182	<b>118,000</b>	817	119,000	△ 1,000	
借入金・社債 / EBITDA	9.2	<b>9.2</b>	0.0	9.1	0.1	

# 減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2018/3期 通期実績	2019/3期 通期予想	増 減
運 輸	減価償却費	27,263	<b>28,000</b>	736
	EBITDA	56,469	<b>58,600</b>	2,130
不 動 産	減価償却費	11,429	<b>12,000</b>	570
	EBITDA	27,727	<b>30,100</b>	2,372
流 通	減価償却費	7,165	<b>7,000</b>	△ 165
	EBITDA	14,246	<b>14,500</b>	253
ホテル・レジャー	減価償却費	4,168	<b>4,500</b>	331
	EBITDA	13,796	<b>10,000</b>	△ 3,796
そ の 他	減価償却費	1,836	<b>2,000</b>	163
	EBITDA	3,448	<b>3,500</b>	51
調 整	減価償却費	674	<b>500</b>	△ 174
	EBITDA	1,492	<b>1,300</b>	△ 192
連 結	減価償却費	52,538	<b>54,000</b>	1,461
	EBITDA	117,182	<b>118,000</b>	817

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

## お問合せ先

### 経理部

Tel : 06-6775-3465

Fax : 06-6775-3691

Mail : [ir-info@rw.kintetsu.co.jp](mailto:ir-info@rw.kintetsu.co.jp)